

## 【 2/10（水）不登校・ひきこもりの子ども達に寄りそう

～発達障がい児を中心として～】

### 講演会参加者からの質問及び講師の回答

先日は講演会に参加いただき、ありがとうございました。

また、アンケートへの回答にご協力いただきありがとうございます。

時間の関係上、講演会の中でお答えできなかったご質問について、後日伊丹昌一先生からご回答をいただきましたので、下記に記載いたします。

→の後は先生のご解答です。

・ ネット（ゲーム）の世界でつながっているのは、評価してもよいのか。

→どのようにつながっているのか、対象の年齢、どのようなゲームかが問題ですが、直接的につながりにくい子どもはネットでつながることは悪いことではありません。

・ 少子化の傾向を超えて、非行少年の数が減少しているという。LD や ADHD 等への理解が広がりつつあることから、早期に適切なケアを受ける機会が増えてきたため、非行以外のあり方を得ることが、できるようになった結果と考えてよろしいか。

→発達症特性が原因で非行につながるということはありませんが、二次症状としての非行はこの子たちの理解が広まったことも一因と思います。

・ 不登校経験者だった。その頃は、中学校でセンターの先生にお世話になりました。

学校は、あんまり信じられなかった。無料の相談所を増やしてほしい。

→学校でつらい思いをされたのですね。心痛みます。その経験を生かして、今も困っている人のために無料の相談所を増やす活動をなさってください。

・ 山下清やイチロー、阪本竜馬、トム・クルーズ、ピカソも発達障害をもっていると聞いたが、実際そうなのか。

→私は医療関係者ではありませんので、誰が発達障害かを明確にする役割ではありません。私の役割は困っている原因はさまざまにせよ、困らないようにサポートすることです。

・病院に行けない子の対応について

→**子どもは直接的には病院など行きたくないものです。保護者が先に行って、医療のプラス面をお伝えください。**

・発達のことについて、本人に話すタイミング、どこまで理解し、受け入れてくれるか心配。もっと理解し、勉強する必要があると感じた。

→**その通りだと思います。大人が最新情報を学び、子どもに負担のない形で伝えることが必要です。**

・入学希望の生徒と面談したが、声が小さくほとんど返答ができていない。中学校では、別教室にほぼ毎日通っていると母親から伺った。「何か知っておいた方がいいことはありますか」と中学校教員に尋ねたが、「別に…」と言われた。母親からも特性のことは聞かない。どうすればよいか。

→**残念な環境ですね。再度、生徒の行動観察から困難を見出し、その困難を乗り越えるためには何をすべきか考えてあげてください。**

・同性とのかかわり方について。高校2年生の娘がいます。小学校6年生の頃から、友達との付き合い方に悩んでいる。(現在は異性との関わりがあるがネットでの会話などで、外へ遊んだりはしていない)心の中では同性の友達がほしい様子。同性に対して嫌な理由があるらしく、上手にアドバイスができない。どのように、対応したり、声かけをしたらよいのか。

→**子どもさんにとって信頼のできる同性の存在は必要不可欠です。だからと言って、同年代の子どもと無理に関係を作る必要はありません。ストレスになるだけです。困っている子どものことを理解できる年上の同性を探すといいと思います。**